



おおにしだより

第30号

平成25年12月12日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

遠山に日の当たりたる枯野かな

高浜 虚子

冬枯れの景色の中で、晃石山がぽっかりと日に当たって雄々しく聳え立っていました。寒さや病気に負けず、この時期を元気に乗り切り、満足感のある学期末と充実した冬休みとなるよう、本校の子どもたちを励ましてくれているようでした。

早いもので、学期の中で一番長い2学期も、あと2週間ほどを残すだけとなりました。子どもたちは、各教科等の勉強、持久走大会や校外での体験学習の行事等を通して、努力することや友だちと協力することの大切さを学び、一回り大きく成長しました。冬休みを控えた今は、2学期の学習のまとめと生活の振り返りをする大切な時期です。充実感を味わわせながらも、やり残したことや、まだ十分に身に付いていないことなどを補い、学期末を迎えるさせたいと思います。

さて、穏やかな晴天に恵まれ、校内持久走大会が無事に終了いたしました。いつも、よくがんばる西小の子どもたちですが、この日もまた素晴らしい姿を見せてくれました。

練習の時から、自分の目標に向かって熱心に取り組むことができましたが、本番でも実に素晴らしい“走りっぷり”でした。各学年とも、練習時の記録を大幅に短縮することができた子がたくさんいました。また、学年の歴代記録を破り“新記録”を出した子が、なんと3名もいました。

ゴールを目指して直向きに走る子どもたちの姿こそが「おおにしちゃん」の底力であり、それを引き出してくださいましたのは、家族や友だち、教職員、それに地域の方々、つまり「チームおおにし」の温かい応援だったと確信いたします。

また、安全見守りをしてくださった「子どもを守る会」の皆様のおかげで、事故もなく終わることができました。子どもたちの努力に加え、保護者の皆様と地域の方々のご理解とご協力があつての持久走大会だったと改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



大平中学校教員による大平西小学校への乗り入れ授業

近年、子どもが小学校や中学校に入学した時に、学習環境や生活環境、人間関係などの変化から、学校生活への不適応を起こす「小1プロブレム」や「中1ギャップ」が課題となっています。こうした課題を解決するためには、子どもたちが社会に出るまでの学校教育において、発達段階に応じた教育を確実に行いつつ、一貫した考え方のもと、異校種間の連携を図った教育が必要です。

栃木市では、これらの状況を改善するため、幼稚園・保育園と小学校の連携、姉妹校化による小学校と中学校の連携の中で、互いに授業を参観したり、授業研究会を行ったり、進路指導や児童・生徒指導等で情報交換をしています。今後、より一層異校種間の接続を円滑にするため、それぞれの学校段階での教育の役割を尊重しつつ、子どもたちの学習活動における連携や教職員の交流をさらに充実させていく必要があります。

写真は、11月26日に本校で実施した、大平中学校飯田佳広教諭による授業実践（6年2組算数）です。以下のような大きな成果をあげ、有意義な異校種間連携となりました。大変お世話になりました。



【6年担任・児童の感想より】

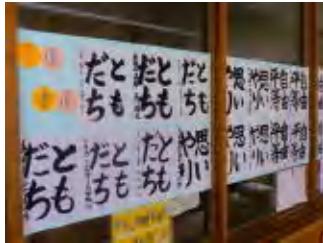
- 1組・2組の両クラスで算数の授業を教えていただきました。とても楽しい数学の世界に触れることができ、中学校という壁が少し低くなったように思います。また、中学校の先生から指導を受けるという緊張感も多少あり、よい体験となりました。
- 給食の時間では、兄姉がいる子との会話が弾みました。
- 飯田先生は、業間や昼休み、清掃の様子なども熱心に観察してくださいました。
- 飯田先生からは、西小学校の先生の熱心な指導ぶりや、6年生児童が下級生の面倒をよく見ながら行動している姿に驚いたとお褒めの言葉をいただきました。
- 放課後の情報交換では、中学校に向けての心構え（時間の有効な使い方、きびきびとした行動等）についてお話を聞くことができ、大変参考になりました。

教育相談の充実で、さわやか“おおにしぃ子”！！

本校では11月21日（木）から12月6日（金）までを「教育相談週間」とし、学級担任が、各学級の児童全員に対して教育相談を行いました。短い時間ではありましたが、学級の児童一人一人の理解を深めるとともに、児童と担任の信頼関係をより一層深めることができたようです。

今回は、6月に続いて本年度二回目の「教育相談週間」となりました。各学級では事前に、「学習や生活についてのアンケート」を実施し、児童一人一人の悩みの実態を把握してから面談を行いました。

担任は「勉強のことで困っていること」「身体のことで心配なこと」「いじめなど、友だちのことで困っていることや心配なこと」等、一人一人の児童の持つ悩みや考え方・感じ方に対し、じっくりと耳を傾けるとともに、適切なアドバイスを行いました。また、児童の良さを認め、褒めることで、児童に自信を持たせ、自尊感情を育むことができるように努力しました。面談後の“おおにしぃ子”的爽やかな表情が、大変印象的でした。



人権書道作品展より

教育相談では、学校生活や家庭生活での心配ごとや悩みを把握することをねらいとしています。今後も、児童の小さなサインを見逃さないように生活の様子を観察し、チェックを怠らないようにするとともに、教師間の情報の共有化に努めてまいりたいと考えます。

また、学級担任による教育相談の他に、児童の希望に応じて、担任以外の教職員でも面談を行うことができるようになっております。さらに、年間を通してのスクールカウンセラーによる相談活動を充実させ、児童たちからの訴えや、気になる行動に対し、より一層適切に対応してまいりたいと考えます。

なお、お子さんの様子で気にかかることがありましたら、小さなことでも結構ですので、担任または校長・教頭にご連絡ください。



歴代PTA会長の皆様

「ポコッ ポコッ」「両足をポックリに乗せ、ひざを片足づつ引き上げながら歩きます。ポクポク音を立てて歩いてみよう。」

1年親子レク「昔の遊び」では、本校の歴代PTA会長の皆様に、空き缶ポックリ・ぶんぶんゴマの作り方と遊び方を教えていただきました。自分の手で初めて作ったおもちゃで遊ぶ子どもたちは皆、目を輝かせて遊びに熱中していました。「上手く歩けたよ！」「ぶんぶんゴマ、ブーンと音がするよ！」と、あちこちで歓声があがっていました。

本校では、地域の中に生き、地域と一緒に育った教育を継承し、児童・教職員が「郷土を愛し、誇りに思える」学校づくりに努めています。本年度も、教育活動の様々な場面で、アシストネットに関わる「学校支援ボランティア」の皆様に大変お世話になりました。



昔の遊び



福祉体験

なお、歴代PTA会長の皆様の他にも、11月から12月にかけて、地域の方々との交流場面がたくさんありました。温かいご指導に感謝申し上げます。

アシストネットは、学校の宝です。

心も、体も、健康で、楽しい冬休みに

新年を迎えるこの時期の冬休みは、寒さの厳しい時期もあります。親戚、縁者が久しぶりに訪問し合い、互いの無事、健康を確かめ、喜び合うお正月。子どもたちにとっては、新しい年を迎えることに対する爽やかな緊張感の漂う休みではないかと思います

12月26日から1月7日までの13日間の冬休みですが、保護者の皆様のお力で、ぜひ、家族の「絆」を大切にしてほしいと思います。また、以下のことについて、ご家庭でも話し合ってくださいますよう、よろしくお願ひいたします。

☆ 早寝、早起き、朝ご飯

☆ 不審者、交通事故に注意！

☆ 優しさは、優しい言葉から、そして、優しい言葉は、大人から

新しい年が、児童並びにご家族の皆様にとって、素晴らしい年になりますように、
心からお祈り申し上げます。

大平西小学校教職員一同